



2021年10月12日

各 位

会 社 名 株式会社 近 鉄 百 貨 店
 代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 秋 田 拓 士
 (コード番号8244 東証第1部)
 問 合 せ 先 取締役常務執行役員 業務本部長 八木 徹
 (TEL. 06-6655-7030)

2022年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び
 2022年2月期通期業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年7月13日に公表いたしました2022年2月期第2四半期(累計)(2021年3月1日～2021年8月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年7月13日に公表いたしました2022年2月期通期(2021年3月1日～2022年2月28日)の業績予想を下記の通りとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異について

(1) 2022年2月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(2021年3月1日～2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	48,000	△1,100	△800	△650	△16.10
今 回 実 績 (B)	47,285	△1,435	△976	△881	△21.83
増 減 額 (B - A)	△714	△335	△176	△231	—
増 減 率 (%)	△1.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	98,747	△2,188	△1,951	△4,953	△122.69

(2) 2022年2月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異(2021年3月1日～2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	41,000	△1,100	△800	△600	△14.86
今 回 実 績 (B)	38,969	△1,567	△1,194	△970	△24.04
増 減 額 (B - A)	△2,030	△467	△394	△370	—
増 減 率 (%)	△5.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	87,713	△2,220	△1,855	△4,736	△117.30

2. 2022年2月期通期業績予想について

(1) 2022年2月期通期連結業績予想の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	112,000	1,800	1,700	1,700	42.10
今回修正予想 (B)	99,600	600	1,300	1,200	29.72
増減額 (B - A)	△12,400	△1,200	△400	△500	—
増減率 (%)	△11.1	△66.7	△23.5	△29.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	218,351	△2,020	△1,293	△4,949	△122.58

(2) 2022年2月期通期個別業績予想の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	96,000	1,500	1,200	1,400	34.67
今回修正予想 (B)	84,100	150	700	800	19.81
増減額 (B - A)	△11,900	△1,350	△500	△600	—
増減率 (%)	△12.4	△90.0	△41.7	△42.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	197,002	△2,298	△1,731	△5,072	△125.63

3. 公表の理由

当社が2021年4月12日に公表いたしました2022年2月期連結及び個別業績予想につきまして、2021年7月13日に公表した「2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、通期の連結及び個別業績予想を据え置きとしておりました。

2022年2月期第2四半期(累計)の業績につきましては、2021年8月に4度目となる緊急事態宣言が大阪府に発出され、当社において府内の店舗では営業時間の短縮や入場制限への協力などを実施いたしました。その結果、売上高や各段階利益は、前回業績予想を下回りました。

また、2022年2月期通期業績予想につきましては、9月の緊急事態宣言のエリア拡大や期間延長に加え、今後も当社において新型コロナウイルス感染症拡大による業績の下振れが前回予想を上回ると判断し、コスト削減等を織り込み業績予想の修正をいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が当連結会計年度末まで継続すると見込んでおりますが、実際の感染症の影響や消費動向等により、当予想は変動する可能性があります。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。